

平成27年度 収支計画書

(単位:千円)

		項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収入	①指定管理料	857	768	1,006	0	0	784	943	1,235	1,428	1,230	1,255	3,693	13,199	
	②駐車場事業収入	800	1,000	800	2,714	2,859	1,227	700	600	447	450	400	450	12,447	
	③利用料金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④自動販売機収入	50	50	55	60	60	55	50	40	30	30	30	45	555	
収入計		1,707	1,818	1,861	2,774	2,919	2,066	1,693	1,875	1,905	1,710	1,685	4,188	26,201	
支出	一般管理費 (消耗品、図書代、通信 運搬費、職員旅費等)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	
	光熱水費 (電気、上下水道代等)	60	65	75	85	95	75	65	55	75	75	75	65	865	
	保険料 (施設管理者賠償責任 保険・車両保険)	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	
	植物管理	0	0	100	200	200	0	0	300	100	100	100	200	1,300	
	施設管理	20	20	20	20	20	116	20	20	20	20	20	66	460	
	清掃管理	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360	
	運営管理(利用促進費 等)	60	60	260	60	60	260	60	60	260	60	60	60	1,414	
	常勤給与・賞与	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	252	3,024	
	非常勤給与・賞与	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	1,296	
	各種手当	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	54	780	
人件費	法定福利費	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	780	
	アルバイト賃金	360	360	360	360	360	360	360	360	360	350	350	360	4,300	
	修繕費	10	20	20	20	30	80	80	80	80	80	80	80	660	
	諸経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,300	2,300	
駐車場経費	駐車場運営費	490	657	390	1,393	1,518	539	472	364	384	389	308	307	7,211	
	事務経費	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65	780	
	支出計	1,707	1,818	1,861	2,774	2,919	2,066	1,693	1,875	1,905	1,710	1,685	4,188	26,201	

指定管理業務 管理運営 事業計画一覧

公園名：葉山公園

区分	提案項目	事業計画書の内容		実施計画	評価項目 との対応
		提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H27		
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等 ※本項は「考え方、実施方針」であるため詳細については各計画の該当箇所を参照（以下計画書1記載の具体策の一部を列挙）					
1-1 「県民の憩いの場」としての樹木・植物管理の徹底	自然環境の保全と活用	各取り組みを実施			
1-2 地震・津波災害への防災（減災）体制の迅速な構築 と障がい者への対応	災害対策とハリアフリー化	各取り組みを実施			
1-3 地域活性化に繋がる「県民交流の場」としての役割を担い、 公園管理運営への「地域住民の参加」を醸成	地域活性化への貢献	各取り組みを実施			
1-4 利用状況に応じた円滑な駐車場の管理運営	効率的で効果的な公園整備ヒアリングの提供	各取り組みを実施			
1-5 県民の誰もが親しめるようなスタッフによるホスピタリティ 溢れる対応とユニバーサルサービスの提供	駐車場の管理運営に起因するトラブル・事故の未然防止	各取り組みを実施			
1-6 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営	公園利用マナーの啓発運動の実施	各取り組みを実施			
1-7 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営					
2 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等 (委託予定業務一覧表(様式第3号)にて確認)					
3 施設の維持管理					
3-1 維持管理の具体的な進め方	「年間作業計画書」に基づく維持管理業務の遂行	・「維持管理水準書」に基づいた「年間維持管理作業計画」を作成し、計画的に業務を遂行			
3-2 維持管理の具体的な進め方	チエックリストによる着実な日々の作業遂行及び確実な実施報告	・チエックリストによる遺漏なき状況把握と巡回作業の徹底化及び日報による記録 ・月次業務報告書はビジュアル的に理解できるように作成			
3-3 植物管理-環境への配慮	土壤汚染、生物多様性の観点から除草剤の不使用	・除草剤の使用を控える ・やむを得ず使用する際は、関係法令の順守と県への報告 および近隣住民への情報提供を実施			
3-4 植物管理-公園機能・景観の向上	「不定芽の発生原因」を配慮した越境枝・不要枝等剪定去除	・当社緑化専門スタッフの指導のもと、不要枝等の剪定を実施 ・巡回チェックリストによる着実な作業遂行			
3-5 植物管理-病害虫防除対策	「予防保全」の重点的実施	・密生による風通しや枝抜き等を定期的に実施し、病虫害の発生を抑制する ・樹幹注入によるマツキムシの駆除			
3-6 植物管理-芝生管理	裸地化の防止	・適正な時期に芝生地の修復と育成対策の実施 ・裸地化した芝生地の修復			

3-7	植物管理-樹木管理	日常の巡回・点検と通し、樹木の特性を踏まえた管理の実施	・公園外周の道路上に越境している枝の伐採 ・太枝の切り落とし ・樹木の調整と枝披きの実施 ・クロマツの冬季のこも巻きの実施
3-8	植物管理-樹木診断の実施	樹木による診断結果に基づき、適切な処置の遂行	・樹勢の弱いクロマツを対象に診断を実施し、必要に応じて適正な処置とカルテ化を図る
3-9	植物管理-ハマナス	ハマナスの育成管理の徹底	・枝張りの状態を見ながらの枝の整理 ・適正な施肥と病虫害対策の実施
3-10	清掃-「清掃の基本と概念」に則った維持管理	「巡視マニュアル」に基づいた維持管理	・着実な巡回・施設点検により落書き・ゴミの早期除去に努める
3-11	清掃-「清掃の基本と概念」に則った維持管理	トイレ便器に「コーティング処理」の実施	・便器の状態の把握に努め、コーティング処理方法を検討 ・専門知識を持つ定期清掃の実施
3-12	保守点検-日々の安全バトロール及び日常点検・定期点検	日常点検による安全確認と定期点検による劣化対策	・補修点検結果をデジタルベース化 ・ベンチ周辺の段差解消
4 利用促進のための取組			
4-1	誰もが親しめるイベント・教室の実施	「コミュニケーションカーテン」を作ろう	・ボランティアとの関係性の構築 ・園内花壇ボランティアをサポートして公園美化運動の活性化
4-2	誰もが親しめるイベント・教室の実施	公園農家朝市	・地元農業系団体と調整して秋冬季に開催を検討
4-3	誰もが親しめるイベント・教室の実施	樹木を使ったインテリアづくり	・地元の活動団体と連携して子供向けに松かさソリーブづくりイベントを開催
4-4	誰もが親しめるイベント・教室の実施	葉山町の振り歩き	・地元環境デザイン系団体と連携して海辺の自然観察会開催
4-5	誰もが親しめるイベント・教室の実施	自然学習会	・近隣の自然博物館と連携して海辺の自然観察会開催
4-6	誰もが親しめるイベント・教室の実施	ピーチコーミング＆ピーチクリーンアップ	・地元自然系NPO法人と連携してイベントを開催
4-7	誰もが親しめるイベント・教室の実施	青空ヨガ教室	・当社ウェルネス事業の専任講師による教室開催
4-8	誰もが親しめるイベント・教室の実施	正しいウォーキングエクササイズ	・当社ウェルネス事業の専任講師による教室開催
4-9	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	リーフレットの作成、配布	・親しみのあるリーフレットを作成することも、ホームページからもダウンロード可とする
4-10	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	プロモーション活動	・地元NPO法人を通じて加盟店各団体や地域住民に利用促進への働きかけを実施
4-11	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	ホームページの製作と運用	・利便性の高い情報を満載したホームページを作成 ・「近隣駐車場マップ」の作成・掲載
4-12	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	パブリシティ活動	・タウン誌や地元コミュニティFMラジオ局等にイベントや公園の最新情報を提供

5 自主事業の運営			
5-①	設置目的を踏まえた自主事業の展開	公園周辺の名所を散策できるレンタサイクル事業	・乗山公園～三ヶ岡山線地を中心としたツーリング計画の策定 ・駐輪場計画の策定
5-2	設置目的を踏まえた自主事業の展開	「手ぶらで気軽に」楽しめるレンジャー用品レンタル	・公園内で軽スポーツ事業を展開する為のエリア分け等のルールの構築 ・利用者ニーズの調査
5-3	設置目的を踏まえた自主事業の展開	来園者のニーズに応じた自動販売機の設置	・公園利用者がどちらのような自動販売機を必要としているか(ニーズ)の把握 ・災害対応型自動販売機の設置
5-4	設置目的を踏まえた自主事業の展開	利便性や安全性を確保した駐車場の管理運営	・夏季繁忙期の交通誘導員資格者の配置 ・満車時のお隣駐車場マップの配布 ・利便性の把握
6 利用料金について	該当なし		
7 利用者への対応	該当なし		
7-①	接客対応及びその研修	高い顧客満足度を得るために研修を実施し、利用者との信頼関係の構築	・新任スタッフ基礎研修の実施 ・当社専属マナー講師による接客研修の実施 (公共交通サービス窓口における配慮マニユアルや「自己診断表」に基づく) ・倫理遵法のコンプライアンス研修の実施
7-②	苦情処理の対応及びその研修	効率的で効果的な公園整備とサービスの提供	・園内看板の整理と公園案内板等の設置 ・受付案内場所の改善による公園PR活性化 ・AED表示の明確化
7-③	利用指導及びその研修	体制の構築、業務への反映、研修	・苦情処理体制の構築 ・「スタッフ会議」の開催 ・改善した内容の利用者への周知 ・苦情・相談対応シートのデータベースの構築 ・「クレーム対応10箇条」の掲示 ・苦情処理対応研修の開催
7-④	ニーズ・苦情の把握とその反映の仕組み	公園の保全・安全で快適な利用のための利用指導及び研修 利用者が意見を出しやすい環境と仕組みの整備、及びその反映できる方策	・安全バトロールでの利用者への日常的な声掛け ・親しみのあるマナー看板の設置 ・利用案内パンフの配布 ・都市公園条例等関係法令の勉強会の実施 ・「無記名方式アンケート」 ・「ご意見箱」の設置及び抽出したデータの業務への反映
		公園利用マナーの啓発運動の実施	・「公園マナーアップキャンペーン」等のイベントの検討

8 通常の指定管理業務を行つ中の事故防止等の取組内容

8-1 事故防止等の取り組み	防犯対策等安全確保の実施体制づくり	・葉山公園の安全管理組織を自社安全管理体制に組入れて確立する「安全管理体制」の構築
8-2 事故防止等の取り組み	地域との連携の中での防犯・安全対策	・利用者や地元住民と防犯に関する連携を図り、不審者や事件等の情報を取り集めし掲示物やチラシで「見える化」をする。
8-3 事故防止等の取り組み	施設の安全対策一安全バトロールの実施	・施設美化キャンペーンの定期的な実施 ・始業前ミーティングにおける相互確認・新任スタッフ研修への反映 ・毎日2回の安全バトロールと適切な利用指導の実施 ・バトロールの際にはスタッフはユニフォームと名札を着用
8-4 事故防止等の取り組み	施錠・開錠の適切な確認と適切な利用指導	・無ハーベキュー花火の不始末等特に留意し、看板等により利用マナー啓発活動を実施
8-5 事故防止等の取り組み	樹木や外灯の適切な管理による死角の除去及び照明の遮断の防止	・樹木の適切な管理による死角の除去及び照明の遮断の防止
8-6 事故防止等の取り組み	野良猫・迷い猫・カラス対策	・動物愛護の考え方にも配慮した猫による環境放置の解決 ・弁当の食べ残しやごみの放置を迅速に処理することによる力ラス対策の実施
8-7 事故防止等の取り組み	ベンチや遊具の適切な管理	・「遊具の安全指針」「遊具の安全に関する基準」に基づき整備を行い、「遊具履歴書」に記録 ・他施設の事故の際には「特別点検」を実施 ・施設・遊具の点検チェックシートによるデータ化
8-8 事故防止等の取り組み	駐車場料金等の管理	・閉場後の貴重処理と現金の厳重な保管 ・防犯カラーポールの設置 ・本社経理部門の定期的な実地監査の実施
8-9 事故防止等の取り組み	大雨や台風後の地盤等の適切なチェック	・風倒木等に対する専門家の助言を踏まえた措置の実施
8-10 事故防止等の取り組み	日常の作業の安全対策の実施	・作業区域には「作業表示板」を用いて行うなど、利用者の安全確保を第一に作業を実施 ・作業車利用の場合の係行運転とハザードランプの義務付け
8-11 事故防止等の取り組み	安全管理の指針の整備	・ハサードマップ・注意喚起POPの整備 ・施設点検マニュアルの整備
8-12 事故防止等の取り組み	安全管理の研修	・危険予知活動への取組みによる安全意識の向上 ・「普通救命講習」によるAEDトレーニング実施 ・「ヒヤリハット事例集」、「K-Y事例集」の作成と活用

9 事故、異常気象等(水防を含む)の緊急事態が発生した場合の対応方針		
9-1 緊急時の体制及び初期対応	緊急時の連絡・連携体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 現地、県との連絡体制とハックアップ体制の構築 現地スタッフに「緊急時対応マニュアルカード」を携帯 緊急連絡機の整備及び近隣医療機関の情報収集 衛星携帯電話の設置
9-2 緊急時の体制及び初期対応	事故・災害発生時の確な対応に備えた的確な準備	<ul style="list-style-type: none"> 傷病者対応フローの整備とスタッフへの周知 「普通救命講習」によるAEDトレーニング実施 防災訓練の実施 初期消火訓練の実施 雨季防止のため事故状況の正確な記録の作成と共有化
9-3 地震津波への対応	避難誘導等を考慮した連絡方法及び対応体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 葉山町津波ハザードマップの把握 正確な情報収集と消防署・警察との連携 指定管理者脇賀庄保険への加入 迅速な避難誘導経路案内版の整備 津波避難誘導経路案内版の整備
9-4 台風大雪警報発令時の対応	警報発令に對応した迅速な行動のための確実な準備	<ul style="list-style-type: none"> 警報発令に対応したフローチャートの整備と現地スタッフへの周知 警報状況に応じた利用制限の実施 急病人発生時のマニュアルの整備 心肺停止予防 早い119番通報 早い心肺蘇生とAED 救急隊、病院での措置
9-5 急病人が生じた場合の対応	救急の連鎖(1-2-3-4-5-6-7-8-9)を意識した対応体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理研修 防災訓練 初期消火訓練
9-6 急病人が生じた場合の対応	救命に関する研修の確実な実施	
10 当該公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制への対応		
10-1 「震災時対応の考え方」に示す初動体制	初動時の配備体制、時系列別の対応、連絡網の確保	<ul style="list-style-type: none"> 初動時配備体制の構築 時系列別対応の現地スタッフの周知 初動本体制として列席と現地スタッフの役割分担 衛生電話の設置
10-2 公園の特性、立地状況等に応じた災害対応	地域との連携、防災訓練・職員への協力	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と協働による防災訓練の実施 非常管理制度マニュアル」の整備及び避難誘導シミュレーション教育」の実施 自治体や地域住民との連携した災害対応
10-3 公園の特性、立地状況等に応じた災害対応	災害対応物品の備蓄、災害発生時の協力等 バリアフリー化	<ul style="list-style-type: none"> 非常用備品、応急用機材の配備 災害対応型自動販売機の設置 緊急地震速報受信ラジオの設置 障がい者専用駐車場の確保 必要に応じて車イスの貸出
11 地域ご連携した魅力ある施設づくり		<ul style="list-style-type: none"> 地元の観光協会並びにNPO法人をはじめとした地元各団体と連携した管理運営(関係性の構築) 近隣自治会や近隣小学校等へ利用促進に向けた働きかけを実施 トラブル等が発生した場合には「調整会議」を開催 地元NPO法人並びにその加盟団体との連携によるイベント開催(年4回) 同法人発行「葉山の中間たち」にイベント案内や公園の魅力の情報発信 子の他のボランティア団体等との連携 地元観光協会を通じたしおさい公園等の交流(関係性の構築)
11-1 経済的な安定した管理運営を行うための体制	地域社会との形成を目指す運営体制 具体的な人材活用、地域との協力体制の構築	
11-2 ボランティア団体等との連携、協働及び育成	具体的な連携・協働・育成	
	近隣の公園や施設との連携を通じたコミュニティ全体の活性化	

11-③	他の公園、周辺施設との交流・連携	「レンタサイクル」を利用した「文化財巡りの提案」	・「ワーキングマップ」の作成検討 ・レンタサイクル事業とコースプランの検討
11-4	地域企業への業務委託による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取り組み	当社指定管理者受託施設等との相互交流	・鎌倉市笛田公園等との「相互交流」の実施
11-5	企業のCSR活動や学校等との連携	委託業務の「精査」「公表」「フィードバック」 具体的取組計画	・県内専門企業への業務委託(交通誘導、保守点検) ・外部委託業務の検討による利用者サービス向上 ・自主事業の収益の一部を「神奈川県みどりの基金」に寄付
12	節電努力等・業務の効率化		
12-①	経費削減努力の実施	人件費の適正化	・現地責任者の常駐化によりスタッフ数の見直しを行い、人件費の適正化を図る
12-②	経費削減努力の実施	植物管理の内作化	・中低木、芝生管理、修繕については可能な限り現地スタッフによる内作化を図る
12-③	経費削減努力の実施	…有料駐車場誘導員の見直し	・夏季繁忙期に交通誘導専格保持者を配置
13	人的な能力、執行体制		
13-①	効果的・効率的な人員配置	責任者及び職員の適切な役割分担	・効率的な業務執行体制の構築と責任者の配置 ・緊急時・繁忙時に即応できる体制づくりの確保 ・現地スタッフの健康管理として、年1回の定期健康診断を実施
13-②	効果的・効率的な人員配置	有資格者の指導のもと、確実な管理運営	・「造園施工管理技士」等の有資格者の指導による育成や中低木等の剪定業務の実施 ・「ビルクリーニング技能士」等の有資格者の指導による清掃業務の実施
13-③	効果的・効率的な人員配置	県、県外事務所、指定管理者本部、現地との連絡体制	・当社各部門の役割に応じた連絡体制とハザワップ体制の構築
13-④	業務委託の際の管理・指導体制	受託業者への指導	・「作業計画書・報告書」の提出を義務付け、業務内容の把握 ・提出された報告書による定期検査、業務品質の評価
13-⑤	人材育成	スキルアップ・モチベーションアップを図るために スタッフ研修の実施	・OJTや外部講習・研修を含めた研修計画の策定 ・接遇マナー研修 ・施設維持管理研修 ・緑化清掃研修 ・安全管理研修 ・コンプライアンス研修
14	コンプライアンス、社会貢献		
14-①	諸規程の整備、法令遵守の徹底	諸規程の適用範囲・給与・決済・会計等)	・諸規定の確定化適用
14-②	諸規程の整備、法令遵守の徹底	コンプライアンスの徹底・研修	・コンプライアンスに関する教育を年1回以上実施
14-③	個人情報保護についての方針・取扱い	個人情報保護方針、個人情報保護の体制、個人情報保護の実効性確保	・「個人情報保護方針」の周知と徹底、利用者への公開 ・「個人情報保護ハンドブック」を用いた研修の実施 ・「個人情報保護規定」の制定と遵守 ・「神奈川県個人情報取扱業務登録制度」に登録
14-④	環境への配慮	環境配慮に関する取り組みの具体化	・「3R運動」の周知及びグリーン購入の実施 ・ごみ持ち帰りの奨励とキャンペーンの実施
14-⑤	障がい者雇用促進	就労体験等具体的な取り組み	・近隣社会福祉法人等への積極的な「就労体験」の働きかけ ・障がい者のトライアル雇用を検討

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料（説明資料・写真・作業資料・写真・新聞切抜きなど）を添付して提出して下さい。

指定管理業務 管理運営 事業計画一覧

公園名：はやま三ヶ岳山林地

区分	提案項目	事業計画書の内容 (事業計画書に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	実施計画		評価項目 との対応			
			H27					
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等								
※本項は「考え方、実施方針」であるため詳細については各計画の該当箇所を参照（以下計画書1記載の具体策の一部を例挙）								
1-① 良好な「都市林」としての環境を保つための適正な樹木管理	自然環境の保全と活用		各取り組みを実施					
1-② 「関東の富士見百景」に相応しい眺望の保全	人気のある眺望を保つために・計画的な支障枝と枯木の伐採		各取り組みを実施					
1-③ 土砂災害に対する利用者への注意喚起と迅速な対策が取られる体制	過去の被害実績に基づく危険箇所の重点的安全バトロールの実施		各取り組みを実施					
1-④ 安全安心して散策等が楽しめるような着実な保守点検・補修	安全・安心で快適な施設環境づくり		各取り組みを実施					
1-⑤ 地域の市民団体等と連携した広報活動の充実	効率的で効果的な公園整備とサービスの提供		各取り組みを実施					
1-⑥ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営	近隣家屋への影響を想定した安全バトロール		各取り組みを実施					
1-⑦ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営	環境対策としての利用指導		各取り組みを実施					
2 事業の一部を委託する場合の考え方、業務内容等								
<委託予定業務一覧表（様式第3号）にて確認>								
3 施設の維持管理								
3-① 維持管理の具体的な進め方	「年間作業計画書」に基づく維持管理業務の遂行	・「維持管理水準書」に基づいた「年間維持管理作業計画」を作成し、計画的に業務を遂行						
3-② 維持管理の具体的な進め方	チェックリストによる着実な日々の作業遂行	・チェックリストによる遗漏なき状況把握と巡回作業の徹底化及び日報による記録化						
3-③ 植物管理-環境への配慮	土壤汚染、生物多様性の観点から除草剤の不使用	・月次業務報告書はビジュアル的に理解できるように作成						
3-④ 植物管理-公園機能・景観の向上	「不定芽の発生原因」を配慮した越冬枝・不要枝等剪定切除	・除草剤の使用を控える際は、関係法令の順守と県への報告						
3-⑤ 植物管理-病害虫防除対策	「予防保全」の重点的実施	・やむを得ず使用する際は、周辺住民への情報提供を実施						
3-⑥ 植物管理-樹木管理	都市林としての環境を保つための適正な樹木管理	・当社緑化専門スタッフの指導のもと、不要枝等の剪定や外衆樹の排除						
		・密生による風通しや枝折れ等を定期的に実施し、病虫害の発生を抑制する						
		・枯れ枝、病害枝、支障枝の除去						
		・枯損木処理・危険木等を伐採						
		・下草刈り除草						
		・樹木ラベルのリニューアル化						

3-7	清掃-「清掃の基本と概念」に則った維持管理	「巡回マニュアル」に基づいた維持管理	・着実な巡視・施設点検による落書き・ゴミの早期除去に努める
3-8	保守点検-日々の安全バトロール及び日常点検・定期点検	日常点検による安全確認と定期点検による劣化対策	・火気使用者への利用指導、消防ボンプの動作確認 ・補修応急措置の迅速化と安全対策の実施 ・全ての点検結果をデータベース化 ・専門資材会社協力のもと木製設備の点検を1回／年実施、年間修繕計画の立案策
4	利用促進のための取組		
4-1	誰もが親しめるイベント・教室の実施	魅力発見マップを作ろう	・地元NPO法人並びに山岳系団体と連携して、三ヶ岡山の新たな魅力を見出す「ホールームページ
4-2	誰もが親しめるイベント・教室の実施	親子ハイキング	・地元山岳系団体と連携して、「親子で楽しめる軽ハイキングイベントを開催
4-3	誰もが親しめるイベント・教室の実施	樹木を使ったインテリアづくり	・地元自然系NPO法人と調整して開催を検討
4-4	誰もが親しめるイベント・教室の実施	三ヶ岡山を撮り歩き	・地元環境デザイン系団体と調整して開催を検討
4-5	誰もが親しめるイベント・教室の実施	自然学習会・環境学習会	・自然系地元NPO法人と連携して「森のワークショップ」イベント開催
4-6	誰もが親しめるイベント・教室の実施	三ヶ岡山緑地クリーンアップ大作戦	・ゴミ持ち帰り運動のキャンペーンとして実施
4-7	誰もが親しめるイベント・教室の実施	葉山の町を山頂から描いてみよう	・地元環境デザイン系団体と調整して開催を検討
4-8	誰もが親しめるイベント・教室の実施	ハイキングのための正しいストレッチ講座	・当社ウェルネス事業の専任講師による教室開催
4-9	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	リーフレットの作成、配布	・親しみのあるリーフレットを作成するとともに、ホームページからもダウンロード可とする
4-10	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	プロモーション活動	・地元NPO法人を通じて、加盟各団体や地域住民に利用促進への働きかけを実施
4-11	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	ホームページの制作と運用	・利便性の高い情報を満載したホームページを作成
4-12	より多くの利用を図るために使う広報、PR活動	パブリシティ活動	・タウン誌や地元コミュニティFM等にイベントや公園の最新情報を提供
5	自主事業の運営		
	該当なし		
6	利用料金について		
	該当なし		
7	利用者への対応		
7-1	接客対応及びその研修	高い顧客満足度を得たための研修を得たための研修を実施し、利用者との信頼関係の構築	・新任スタッフ基礎研修の実施 ・当社専属マナー講師による接遇研修の実施 (公共サービス窓口における配慮マニュアルや「自己診断表」に基づく) ・倫理道徳のコンプライアンス研修の実施
7-2	苦情処理の対応及びその研修	体制の構築、業務への反映、研修	・苦情処理体制の構築 ・「スタッフ会議」の開催 ・改善した内容の利用者への周知 ・苦情・相談対応シートのデータベースの構築 ・苦情処理対応研修の開催

7-③	利用指導及びその研修	公園の保全・安全で快適な利用のための方針及び研修	都市公園条例等関係法令の勉強会の実施
8 通常の指定管理業務を行つ中の事故防止等の取組内容			
8-①	事故防止等の取り組み	防犯対策等安全確保の実施体制づくり	三ヶ園山の安全管理組織を自社安全管理体制に組入れて確固たる「安全衛生管理体制」の構築
8-2	事故防止等の取り組み	施設の安全対策—安全バトロールの実施	施設美化キャンペーンの定期的な実施 ・始業前ミーティングにおける相互確認・新任スタッフ研修への反映 ・毎日1回の安全バトロールと適切な利用指導の実施 ・バトロールの際にはスタッフはユニフォームと名札を着用
8-3	事故防止等の取り組み	ハイキングコースの適切な管理	丸太階段の日常点検の実施及び即応可能な場合の修繕 ・専門修繕が必要な場合には外部業者に連絡後修繕
8-4	事故防止等の取り組み	凹面・展望デッキ・ベンチの危険因子のデータベース化	バトロール巡視時にチェックシートを用いて点検し、危険因子のデータベースを構築し検討計画に反映
8-5	事故防止等の取り組み	土砂崩れリスクへの適切な対応	他のハイキングコース等での事例を参考に、ケーススタディ・ミーティング・スタッフ教育を実施 ・土砂災害リスクについてのHP等での注意喚起 ・降雨後の「高リスク箇所」の重点点検及びハリケードの設置
8-6	事故防止等の取り組み	運搬モノレールの危険除去	山頂のモノレール終点への柵の設置
8-7	事故防止等の取り組み	大雨や台風後の地盤等の適切なチェック	風倒木等に対する専門家の助言を踏まえた措置の実施
8-8	事故防止等の取り組み	日常の作業の安全管理	作業区域には「作業表示板」を用いて行うなど、利用者の安全確保を第一に作業実施
8-9	事故防止等の取り組み	安全管理の指針の整備	・ハザードマップの整備 ・施設点検マニュアルの整備
9 事故、異常気象等水防を含む)の緊急事態が発生した場合の対応方針			
9-1	緊急時の体制及び初期対応	緊急時の連絡・連携体制の確立	現地、当社、県との連絡体制と「バックアップ体制」の構築 ・現地スタッフに「緊急時対応マニュアルカード」を発布
9-2	緊急時の体制及び初期対応	事故・災害発生時の対応に備えた的確な準備	・傷病者救助フローの整備とスタッフへの周知 ・「普通救命講習」によるAEDトレーニング実施 ・山火事対応の消防ポンプ使用訓練の実施 ・指定管理者賃貸責任保険への加入 ・育児防止のため事務状況の正確な記録の作成と共有化
9-3	暴風大雪警報発令時の対策	万が一の場合の登山口閉鎖の周知等の徹底	・警報発令に対応した巡回体制の整備と現地スタッフへの周知 ・警報状況に応じた利用制限の実施
9-4	急病人が生じた場合の対応	救急の連鎖(ヨーカドーがーがー)を意識した対応体制の構築	・急病人発生時のマニュアルの整備 ・心肺停止予防、 ・早い119番通報 ・早しい救命蘇生とAED ・救急隊、病院での措置
9-5	急病人が生じた場合の対応	救命に関する研修の確実な実施	・安全管理研修 ・防災訓練 ・初期消火訓練(山火事対応の消防ポンプ動作確認)

10 当該公園の「緊災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応		
10-1 「緊災時対応の考え方」に示す初動体制	初動時の配備体制、時系列別の対応、連絡網の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・初動時配備体制の構築 ・皆系列別に対応の現地スタッフの周知 ・初動体制として対応と現地スタッフの役割分担
10-2 緑地の特性、立地状況等に応じた災害対応	地域との連携、防災訓練・職員への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地元消防署と連携した消防ポンプの点検と訓練 ・「非常管理マニュアル」及び「出動ルート及び出動手段に関するマニュアル」の整備 ・自治体と連携した災害対応及び地域住民・ボランティア団体との緊急時ににおける連携の構築
11 地域と連携した能力ある施設づくり		
11-1 継続的な安定した管理運営を行うための体制	地域社会との形成を目指す運営体制 具体的な人材活用、地域との協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地元観光協会並びに地元NPOの法人をはじめとした地域各団体と連携した管理運営（関係性の構築） ・近隣自治会や近隣小学校等へ利用促進に向けた動きかけを実施 ・トラブル等が発生した場合には「調整会議」を開催 ・アダプト・システムの導入検討
11-2 ボランティア団体等との連携、協働及び育成	具体的な連携・協働・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地元NPO法人加盟各団体との連携によるイベント開催（年3回） ・地元NPO法人発行の「葉山の中間たち」にイベント案内や公園の魅力の情報発信
11-3 他の公園、周辺施設との交流・連携	近隣の公園や施設との連携を通じたコミュニケーション活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地元観光協会を通じた葉山町各施設との交流（関係性の構築） ・ハイキングマップ」の作成ヨリーフレット
11-4 地域企業への業務委託による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組み	当社指定管理者受託施設等との相互交流 委託業務の「精査」「公表」「フィードバック」	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市笛田公園等との「相互交流」の実施 ・県内専門企業への業務委託交渉説明、保守点検 ・外部委託業務の検討による利用者サービス向上
12 節減努力等(業務の効率化)		
12-1 経費節減努力の実施	人件費の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・現地責任者の常駐化によりスタッフ数の見直しを行い、人件費の適正化を図る
12-2 経費削減努力の実施	植物管理の内作化	<ul style="list-style-type: none"> ・中低木、下草刈り、木製工作物修繕については可能な限り現地スタッフによる内作化を図る
13 人的な能力、執行体制		
13-1 効果的・効率的な人員配置	責任者及び職員の適切な役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務執行体制の構築と責任者の配置 ・緊急時、繁忙時に即応できる体制づくりの確保 ・現地スタッフの健康管理として、年1回の定期健診診断を実施
13-2 業務委託の際の管理・指導体制	受託業者への指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「作業計画書・報告書」の提出を義務付け、業務内容の把握 ・提出された報告書による定期検査、業務品質の評価
13-3 人材育成	スキルアップ・モチベーションアップを図るためにのスタッフ研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTや外部講習・研修を含めた研修計画の策定 ・接遇マナー研修 ・施設維持管理研修 ・緑化管理研修 ・安全管理制度研修 ・コンフライアンス研修
14 コンプライアンス、社会貢献	諸規程の整備、法令遵守の徹底	諸規定の確実な適用
14-1		

14-2 詳細程の整備、法令遵守の徹底	コンプライアンスの徹底・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに関する教育を年1回以上実施 ・ISO14001に基づく環境マネジメントシステム研修の実施
14-3 個人情報保護についての方針・取扱い	個人情報保護方針、個人情報保護の体制、個人情報保護の実効性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報保護方針」の周知と徹底、利用者への公開（個人情報保護ハンドブックを用いた研修の実施） ・「個人情報保護規定」の制定と遵守 ・「神奈川県個人情報取扱業務登録制度」に登録
14-4 環境への配慮	環境配慮に関する取り組みの具体化	<ul style="list-style-type: none"> ・「3日運動」の周知及びクリーン購入の実施 ・ゴミ持ち帰りの奨励とキャンペーンの実施

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料（説明資料・写真・作業一覧・新聞切抜きなど）を添付して提出して下さい。